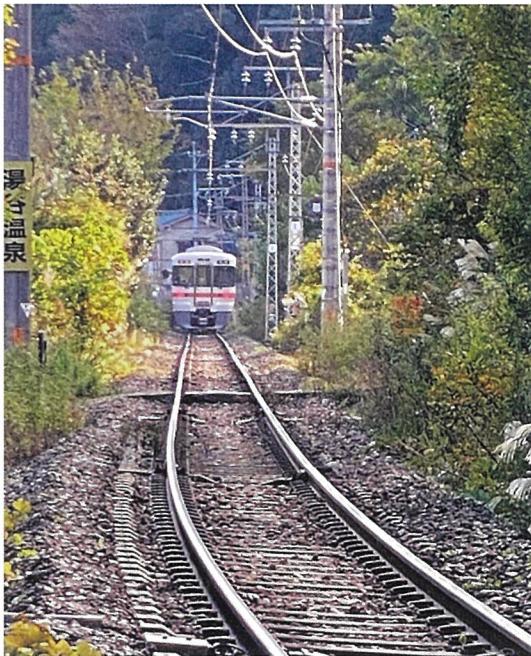
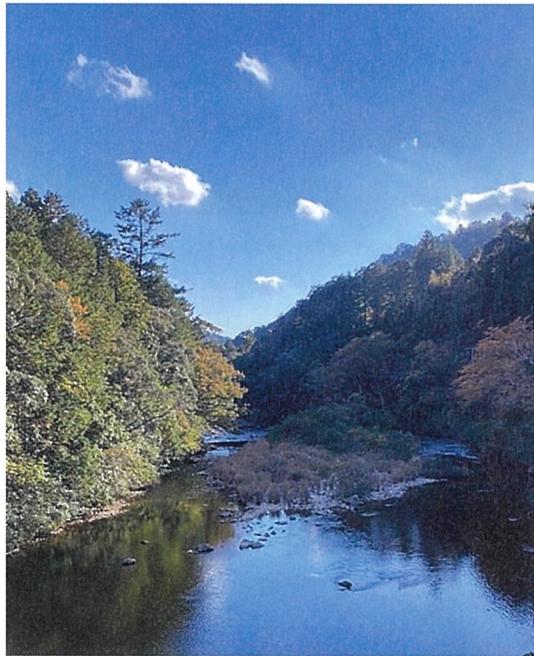


街に行く

第143回 湯谷温泉 Yuya onsen

心も身体も癒された



来年に向けて、ひなびた温泉でゆったり気分をリフレッシュ。ユニークな街ばかり歩いてきたためか、どこを見ても地味なところが刺激的に感じる

本連載は今年、「みなとみらい」から「ビバリーヒルズ」まで、個性ある色んな街を巡ってきました。振り返れば、コロナ禍が落ち着いた秋頃にアメリカの街を訪ねたことが何より嬉しい出来事でした。これからはコロナ禍が「いつ終わるのか」が関心事。脅威レベルがインフルエンザ並になればと祈ります。政治家の暗殺や物価高騰、円安と、きな臭い国際情勢など何かと予想外な一年でしたので、今年の締め括り回では、愛知県新城市の街をのんびり歩くことにします。

目的地は「湯谷温泉」。あまり読者になじみのない場所でしょうが、電車では、東京から東海道本線に乗り豊橋から飯田線に乗り換えて向かいます。小生の別荘のある熱海からは車で新東名を使い3時間ほどの距離です。道すがら、名も知らぬ踏切を通過する電車を何となく撮りました。ひたすら

のんびり感が味わえます。主な観光地は、鳳来山という場所にある「鳳来寺」と「東照宮」ですが、山の中腹の岩の上に建っていて、さながら中国のお寺みたいな風情がありました。自然豊かな道（東海自然道）をゆっくり散策、初秋の木の葉の色の変わり様を楽しみました。

——正直に言いますと、どこを見ても地味でした。唯一、「荒澤不動」という場所にある滝のほんのひと流れが、祀られた不動様の上に落ちるのが靈験あらかで見ごたえありました。

参道でも滝でも人とそれ違わず、自分だけの空間と時間という本当の贅沢を味わえます。

悟りを頂いて「贅沢」や「充実」の捉え方が改まった感じです。贅沢は「欲が満ちた状態」から「心の充ちた状態」に定義し直しました。宿泊した旅館は川沿いの露天風呂。気分をリフレッシュし

た後は、中国薬膳料理のフルコース。翌朝の朝食も薬膳中心で体の中が充ちました。これを英気に新年からはより一層バイタリティー溢れる連載内容にしたいと思っています。

皆さんにとって、来年もよい年でありますことを祈りながら、今年お付き合いいただいた事に感謝します。

来年も頑張りましょう！

南一弘



1982年大学卒業後、三井不動産販売に入社。ローンスター・ジャパン・アクイジションズを経て、2001年エーストス・ジャパン・エルエルシーを設立。同代表に就任。2005年4月MID都市開発(旧松下興産)の代表取締役に就任。2006年ジャパン・アセット・アドバイザーズを設立。同代表取締役に就任。